

平成20年3月5日

各位

東京都千代田区永田町二丁目11番1号
パシフィックマネジメント株式会社
代表取締役社長 高塚 優
(コード番号:8902 東証第一部)
問い合わせ先 経営企画本部担当執行役員常務
田中 賢一
TEL 03(5251)8525

開発オフィスビルへの「緊急地震速報サービス」導入に関するお知らせ

当社は、当社グループが運用する不動産投資ファンドへ質の高い不動産を供給することを目的として、開発案件の取組みを積極的に行っております。この一環として、現在開発中のオフィスビル、「パシフィックスクエア名古屋錦」(愛知県名古屋市中区錦2丁目)において、株式会社シーファイブが提供する「緊急地震速報サービス・EQ-Reporter II」をビル全館に導入することにつき、下記のとおりお知らせいたします。なお、同オフィスビルは、竣工後に当社グループが組成・運用する不動産投資ファンドにて取得する方針です。

記

「パシフィックスクエア名古屋錦」は本年4月に竣工予定であり、竣工時に「緊急地震速報サービス・EQ-Reporter II」も本格稼働いたします。当サービスは、東海大地震が発生した場合、甚大な被害が予測される中部地方の企業ニーズに十分お応えできると考えています。

1. 緊急地震速報とは

緊急地震速報は地震の発生直後に、震源に近い地震計でとらえた観測データから震源やマグニチュードを直ちに推定し、これに基づいて各地での主要動の到達時刻や震度を可能な限り速やかに知らせる情報です。

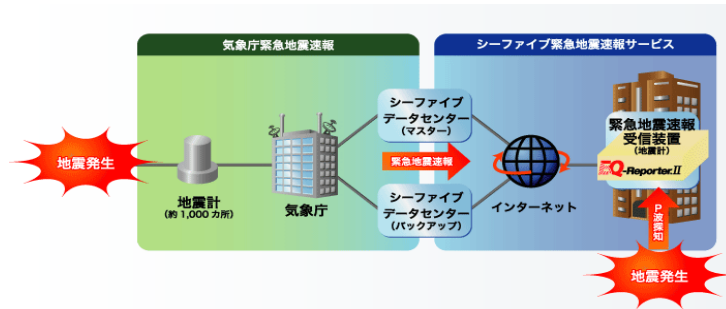
2. 背景

近年、地震やテロ災害・事故などが発生した際でも、主要な業務を継続させる、または、速やかに復旧させるようBCP(事業継続計画)を策定する企業が増えています。大震災などによって取引の中断や製造中止等、企業が事業を継続できず、お客様へ被害が及んでしまうことを最小限に抑えるための、いわば危機管理体制の柱となりつつあります。災害に対して備えを施すことが企業価値の向上につながっています。

3. 緊急地震速報の役割

企業が主要業務を継続するためには、第一に従業員の人命を守らなければなりません。災害発生と同時に落込んだ操業度を、どれだけ早く事前の状態に戻すことができるかどうかは、従業員がいち早く業務に復帰できるかどうかにかかっています。強い揺れが到達する数秒前に地震の発生を知り、個々人が安全確保することで失われずに済む人材(人財)を守ります。

《システムイメージ》



4. サービス内容

(1) 音声通報サービス

予測震度及び、予測到達時間を音声で知らせます。事前に情報を得られるため、落ち着いてオフィス内の安全な場所（什器類から離れた場所・デスクの下・ガラスから離れた場所）に一時的に避難することが可能です。

(2) エレベーター事前停止サービス

地震発生前に安全に最寄階へ停止・開扉することで、エレベーター内での閉じ込めを防止します。

(3) オートドア事前開扉サービス

オートドアは構造上、耐震枠を組み込めないため、大きな地震が起こると枠が歪みドアが開かなくなる恐れがあります。事前に開扉させることにより、そのような事態を防ぎます。

(4) 非常口電気錠の自動開錠

万が一地震により建物内での火災や、閉じ込められた人がいた際、消防隊員が侵入できるよう非常口ドアを自動開錠します。

5. 今後の取り組み

緊急地震速報と連動し、様々なサービス展開を視野に入れていきます。給水設備との連動によるビル浸水の防止、電子メールを用いた安否確認サービスなど、更に安全・安心を付加したサービスのテナント様への提供を検討していきたいと考えています。



外観イメージ

□ 建物概要

所在地：愛知県名古屋市中区錦2丁目

事業主：合同会社メープル・デベロップメント

設計：矢作建設工業株式会社一級建築士事務所

施工：矢作建設工業株式会社

鉄骨造、8階建、延床面積8660㎡